



### 木材組織における方向と断面

A 樹幹または枝を円柱と考えた場合、その底面と上面の中心を結ぶ中心軸と平行する方向を軸方向 (axial / longitudinal direction) と呼ぶ。

B 樹幹または枝を円柱と考えた場合、その軸方向に垂直な断面である円の接線の方向を接線方向 (tangential direction) と呼び、また円の中心から円周に向かう方向を放射方向 (radial direction) と呼ぶ。樹幹または枝の、軸方向に垂直な断面を横断面 (transverse / cross section) または木口面、接線方向と軸方向に平行な断面を接線断面 (tangential section) または板目面、放射方向と軸方向に平行な断面を放射断面 (radial section) または柾目面と呼ぶ。接線断面および放射断面は軸方向に平行であることから縦断面 (longitudinal section) でもあり、それぞれ tangential longitudinal direction, radial longitudinal direction とともに表現される。

C 木材細胞については、樹幹の横断面、接線断面、放射断面に平行な細胞壁をそれぞれ水平壁 (transverse wall)、接線壁 (tangential wall)、放射壁 (radial wall) と呼ぶ。

D 解離細胞では樹幹軸との関係が不明なため、細胞の長軸と平行な面の細胞壁を側壁 (longitudinal wall / lateral wall)、垂直な面の細胞壁を末端壁 (end wall) と呼ぶ。